

2019年6月10日  
第2回茨城県臨床工学技士会  
大会長 中原毅

## 第2回茨城県臨床工学会 開催報告書

下記のとおり第2回茨城県臨床工学技士会を開催いたしましたので、ここに報告いたします。

### 記

1. 日程 2019年6月2日 11:00～16:10
2. 場所 イーアスつくば 2階 イーアスホール A,B,C
3. 内容 一般口演、ランチョンセミナー、総会、第13回県民公開講座
4. 報告事項
  - (1). 参加人数について
    - ・ 一般演題、ランチョンセミナーについては、当日参加含め92名の出席であった。
    - ・ 県民公開講座では、一般参加者10名含む計102名の出席であった。



Fig.1 大会風景

- (2). 一般演題について
  - ・ 県内4施設5演題のエントリーがあり、演題内容は呼吸療法関連から機器管理業務、循環器業務、血液浄化業務など多岐の分野にわたり、CEの研究動向に関する発表も行われた。聴者からも活発な意見が挙がり、各テーマに対する関心の高さが伺えた。

(3). ランチョンセミナーについて

- ・ CEの内視鏡管理業務への関わりを主テーマに掲げ、臨床工学技士として四谷メディカルキューブより関川智重先生、看護師として辻中病院柏の葉より大部智栄子先生のお二人よりご講演頂いた。関川先生からは手術室における内視鏡管理業務の現状や保守管理の実態についてお話を頂き、大部先生からは外来での内視鏡検査業務におけるご自身の業務の実態や CE の業務介入への展望等についてお話頂いた。県内のみならず、未だ CE の関わりが未成熟である内視鏡管理業務において、お二人の講師より具体的な業務の実態や CE に対するニーズについて示されたことは、今後の業務介入を検討している技士施設において大変有用であったと思われる。



Fig.2 四谷メディカルキューブ 関川智重先生



Fig.3 辻中病院柏の葉 大部智栄子先生

#### (4). 第13回県民公開講座について

- ・ 災害対策におけるハザードマップの見方、活用法について、茨城県防災・危機管理部より関聡史先生をお招きし、ご講演頂いた。昨今、県内においても河川の氾濫による災害に見舞われたことから住民の災害に対する関心が高まっており、この度の講座でも一般の方より多数の参加がみられた。講演内容はハザードマップ以外にも災害時の行動や行政のサポートツール等について紹介された。



Fig.4 茨城県防災・危機管理部 関聡史先生

#### (5). Push コースについて

- ・ 今年度は学術大会と並行し、別ブースにて救命講習会（Push コース）を開催した。筑波記念病院の立川法正医師を指導員とし、一般参加者含む約14名が受講した。



Fig.5 Push コース受講風景

以上